



第二ぎんなん便り

熊本市手をつなぐ育成会
第二ぎんなん作業所
令和3年11月25日
第426号



障がい者への理解は進んだのでしょうか？

施設長 松永行弘



深冷の候、「もみじ」や「いちろう」の葉が鮮やかに色づき、色とりどりの落ち葉を踏みしめながらの公園散歩が楽しい季節を迎えました。みなさんはお変わりなくお過ごしでしょうか。

初霜の知らせを耳にするとところとなり、ときおり吹く木枯らしに、駆け足でやってくる冬の気配を感じるこのごろです。

ところで、みなさんに質問します。「障がい者への理解は進んだのでしょうか？」最近の出来事です。ダウン症の息子とよく散歩に出かけます。その時、ある中学生たちが息子の行動を凝視しながら笑うのです。このような不愉快な思いをしたことがしばしばあります。私は、まだまだ「障がい」の知識の普及は進んでないと肌で感じました。市民・地域への啓発活動や児童や生徒への福祉教育を強化すべきと思います。憲法13条（個人の尊重）、25条（国民の生存権）等に規定された基本的人権を前提にして成り立つ平和と民主主義をつくり上げるために、ともに手をたずさえて豊かに生きていく力や、様々な社会福祉問題を解決する実践力を身に付けることが必要だと思います。

児童や生徒を含めた地域住民のボランティア活動を促進していくことや、利用者本位の社会福祉の構築のため、児童や生徒を含めた地域住民を地域福祉の主体としていくことが重要です。福祉教育によって「障がいや障がい者」に対する差別・偏見を取り除き、理解を深めていくことが急務だと思います。

【作業所の様子】

【お弁当会食：家族会より】



10月29日（金）家族会からのお弁当会食を行いました。例年、この時期にバーベキュー大会をしているのですが、今年も昨年同様コロナウイルスの感染予防のためお弁当での会食となりました。家族会よりみかんやお菓子などを頂き、利用者さんも大変喜ばれていました。家族会のみなさま、ありがとうございました。

【からいもの収穫】



5月に植えた「からいも」の収穫です。「からいもの皮はとても薄いので、細心の注意を払いながら土を掘ってください」と職員の説明を聞き、一つ一つ丁寧に掘っておられました。大きいサイズは、だいこん位のものがあびっくりされていました。

【熊本市手をつなぐ育成会職員全体研修会 11/13】



（午後の部：グループワーク）

研修で学んだことを活かし頑張ります。

様々な所属を超えた一体感を持つことができました。